



島根県雲南市 × NPO 法人おっちらぼ × ケアプロ株式会社

## 日本初の官民協働による地方創生事業を開始

**在宅医療の拡充・社会保障費の削減に向けて訪問看護のビジネスモデル化に取り組みます**

若者による地域課題解決に向けたチャレンジを推進する島根県雲南市と、同市内で若者や市民の地域活動を支援するNPO法人おっちらぼ（島根県雲南市：代表理事 矢田明子）、看取り難民予防と終末期医療費削減のために「24時間365日訪問看護」を手がけるケアプロ株式会社（東京都中野区：代表取締役 川添高志）は、地方創生事業として、中山間地域における訪問看護事業のビジネスモデル化に取り組むこととなりましたので報告します。



(写真：左からケアプロ株式会社在宅医療事業部部長・岩本大希、雲南市長・速水雄一、NPO 法人おっちらぼ代表理事・矢田明子)

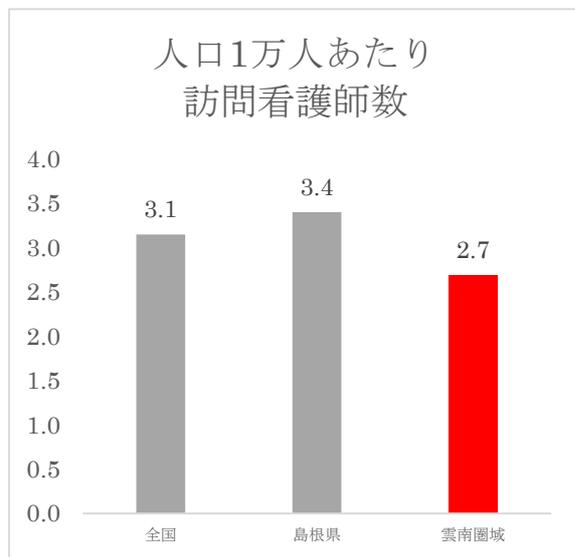
### ▼全国に先駆け動き出した地方創生事業

我が国の25年先の高齢化社会をいく雲南市。「子どもチャレンジ×若者チャレンジ×大人チャレンジの連鎖による持続可能な地域づくり」を総合戦略の重点戦略に位置づけ、課題先進地から「課題解決先進地」に向けて全国の先導的役割を果たします。雲南市では、社会起業家や地域貢献を志す若手人材を育成する塾を開講しており、塾卒業生（60名）をはじめ市内外の志ある若者がつながり、地域課題解決に向けた活動が活発化しています。この度の訪問看護ステーションは、塾生たちの発案からの試行錯誤が実を結んだもので、今春雲南市へU・Iターンした若手看護師3名が加わり中山間地域の未来、日本の未来を変えるべく地方創生の具体的な取り組みとして新たに動き出します。全国の訪問看護師の平均年齢は47歳ですが、平均年齢29歳と全国で最も若い訪問看護ステーションの一つとして立ち上がります。ITを活用することで24時間対応を可能にし、中山間地域における新しいビジネスモデルの構築を目指します。

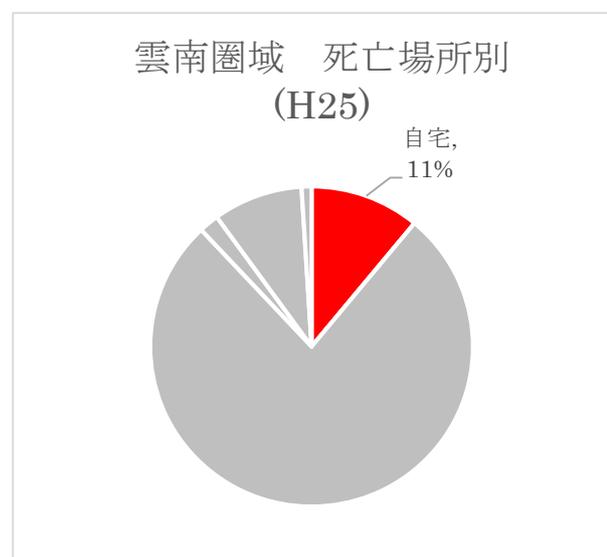


▼訪問看護の取り組み背景と内容

2020年に看取り難民30万人が発生すると予測されている中、特に地方においては、高い高齢化率と在宅医療サービスの供給不足があることから、地域医療の課題として訪問看護の拡充が求められています。雲南市では、人口4万人で高齢化率が36%を超える中、人口あたりの訪問看護師数は全国と比較して少ない状況にあります。市はNPO法人おっちラボと協働し、地域課題解決に向け、中山間地域における訪問看護のビジネスモデル化に取り組むこととしました。また、ケアプロの教育事業として、訪問看護の立ち上げ・運営ノウハウ移転を本年5月1日より雲南市において開始しました。



図①



図②

(図①：平成25年度介護給付費実態調査(厚生労働省)、島根県保健医療計画(平成25年4月島根県)、平成25年人口動態調査(厚生労働省)より)  
 (図②：平成26年度雲南保健所調査より)

▼地域医療分野では全国初の地方創生事業

地方創生総合戦略に基づく地域医療分野の取り組みとしては、全国初の取り組みとなります。雲南市は、志ある若者を誘致・育成し、市内外の若者の育ち合いをすすめて、若者が地域とともに課題解決にチャレンジしやすい環境づくりに取り組みます。NPO法人おっちラボは、中間支援組織として、特に若者チャレンジに特化した事業に注力し、若者の様々な分野での起業支援と全国からのU・Iターンを創出していきます。ケアプロ株式会社では「24時間365日モデル」「新卒新人訪問看護教育プログラム」「ITを活用した効率的な業務」を強みに、来るべく2020年の看取り難民30万人の課題解決に向けたノウハウを構築していきます。

雲南市を舞台として、社会を変える志とノウハウ・スキルをもつ若者、民間企業との協働により新たなビジネスモデルを創出することで、国が推進する在宅医療の拡充及び社会保障費の削減に向け、地方から日本の未来を変える仕組みを提案していきます。



(図③：本地方創生事業スキーム図)

▼共同記者会見の開催

【日時】平成27年6月30日（火） 13:30 開場

【内容】14:00－15:00 共同記者会見

【会場】雲南市勤労青少年ホーム 2階集会室（雲南市役所隣り）

【住所】島根県雲南市木次町木次 1013-1

【会見者】雲南市長・速水雄一、ケアプロ株式会社代表取締役社長・川添高志、  
NPO 法人おっちらボ代表理事・矢田明子

【共同記者会見に関する問い合わせ】

雲南市 政策企画部 情報政策課 松蔭 佳子

0854-40-1015 【メールアドレス】 [jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp](mailto:jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp)

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

雲南市 政策企画部 政策推進課 鳥谷 健二（とや けんじ）※事業内容について

【電話】 0854-40-1011 【メールアドレス】 [seisakuuishin@city.unnan.shimane.jp](mailto:seisakuuishin@city.unnan.shimane.jp)

雲南市 政策企画部 情報政策課 松蔭 佳子（まつかげ よしこ）※取材対応について

【電話】 0854-40-1015 【メールアドレス】 [jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp](mailto:jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp)

特定非営利活動法人おっちらボ 代表理事 矢田 明子（やた あきこ）

【電話】 0854-47-7339 【メールアドレス】 [info@occhilabo.com](mailto:info@occhilabo.com)

ケアプロ株式会社 在宅医療事業部 氏名 岩本 大希（いわもと たいき）

【電話】 03-6696-9789 【メールアドレス】 [info@carepro.co.jp](mailto:info@carepro.co.jp)



## 島根県雲南市

### 雲南市

〒699-1392 島根県雲南市木次町木次 1013-1〔雲南市役所〕

市長 速水 雄一（はやみ ゆういち）

<http://www.city.unnan.shimane.jp>

雲南市は、今年から新たな10年に向かってのまちづくりの目標を示す第2次雲南市総合計画を策定し、基本理念である「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」に向け、「課題先進地」から「課題解決先進地」を目指し、具体的な目標として「人口の社会増」への挑戦を掲げています。また、第2次雲南市総合計画に基づき「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をいち早く策定し、本年3月に公表しています。本戦略では、人口の社会増や地域課題の解決に向け、キャリア教育による「子どもチャレンジ」、志ある若者による「若者チャレンジ」、地域自主組織による「大人チャレンジ」の連鎖を切れ間なく創り出し、市民一人ひとりがプラチナのように輝く「プラチナ社会」の実現を目指しています。

## おっちラボ

### 特定非営利活動法人おっちラボ

〒699-1221

島根県雲南市大東町飯田 36-12 出雲大東駅内

代表理事 矢田 明子（やた あきこ）〔コミュニティナース/幸雲南塾1期生〕

<http://occhilabo.com/>

2011年から雲南市が主催する次世代育成事業「幸雲南塾～地域の未来を創る人の育成塾～」卒業生が中心となり2013年4月に立ち上げたNPOで、若者・市民によるチャレンジを支援しています。



## ケアプロ株式会社

### ケアプロ株式会社

〒164-0011 東京都中野区中央 4-25-14 中央ハウス B2

代表取締役社長：川添 高志（かわぞえ たかし）〔看護師・保健師〕

<http://www.carepro.co.jp>

### 理念

革新的なヘルスケアサービスを提供して健康的な社会づくりに貢献する

### ケアプロ在宅医療事業部

ケアプロ在宅医療事業部では、2020年に発生する看取り難民30万人を防ぎ、終末期医療費の削減をミッションとして、新卒や新人でもチャレンジできる教育体制と、ICTを活用し「24時間365日の訪問看護事業」を中心に、「教育事業」と「人材事業」を行っています。

#### 1. 訪問看護事業

- ・ケアプロ訪問看護ステーション 中野本店

〒164-0011 東京都中野区中央 4-25-14 中央ハウス B2

TEL：03-6696-9789 FAX：03-6849-5039

- ・ケアプロ訪問看護ステーション東京 足立区島根事業所（サテライト）

〒121-0815 東京都足立区島根 3-5-8 コーソカラオケ 201号

TEL：03-5851-8809 FAX：03-5856-5233

#### 2. 教育事業

- ・聖路加国際大学と協働で行う新卒教育セミナー
- ・訪問看護立ち上げ支援
- ・管理者等の研修

#### 3. 人材事業

- ・新卒新人訪問看護師応援サイト CAN-GO (<http://can-go.com/>)

### 備考

東京大学 医療政策人材養成講座 優秀成果物 特賞を受賞

慶応義塾大学 SFC Entrepreneur Award 2007 The Best New Market Award を受賞

第1回社会イノベーター公志園 審査員特別賞を受賞

アショカ・フェローに代表川添が選出

「日経ソーシャルイニシアチブ大賞2013」国内部門賞に選出